

3. 議事

(3) 中・長期的な取り組みについて (公園の利活用促進など)

1

指針推進の取組展開について

現在、住民主体のソフト的な取り組みを中心に検討・実践を進めている。

⇒ 今後は、

- ① 指針に掲げる事項で、現在、手が付けられていない取り組み
- ② ハード整備等が伴う取り組み

等、中長期的まちづくりを展望した新たな取り組みの展開の検討が必要。

ソフト的な取り組みが活発化してくる中で、必然とそれに伴うハード整備や目に見えるキープロジェクトが求められる。

金剛地区まちづくり会議等での主なご意見

- ・ 金剛駅前の再整備
- ・ ピュア金剛跡の活用(コンビニや施設を誘致)
- ・ 寺池公園や中央公園をだれもが利用しやすく改修する(周遊路の整備)
- ・ 地域活動等の拠点となる複合型施設の設置(青少年SHの建て替え)
- ・ プールの再開
- ・ 歩道や道路の再整備
- ・ 空家対策(流通促進、防災モデルハウスとしての活用)

中でも、公園の再整備に関することは、部会活動として、具体的な議論が進む。

2

■金剛中央公園(青少年スポーツホール)

- ①多世代が交流できる拠点化に向けて
- ②青少年スポーツホールの更新等に伴う新たな機能追加について



住民等(金剛地区まちづくり会議)のご意見・アイデア

(公園全体；緑・空間・質の向上)

- ・子どもをはじめ、誰もが使いやすい空間に改修。
- ・質の高い豊かな緑の創出。
- ・バリアフリー化を進める。
- ・アスレチックなど、斜面を使った遊び場の設置。
- ・じゃぶじゃぶ池、噴水など子どもが遊べる施設やプールの設置。
- ・BBQができる(火を使える)施設にする。
- ・スポーツ拠点としての機能をアップ。
⇒質の高いグラウンド(野球・サッカーなど)等。

(青少年スポーツホール；機能の多様化、高度化)

- ・健康増進施設(フィットネス等)の設置。
- ・活動団体のネットワーク拠点化。
- ・会議室やだれもが気軽に利用できるフリースペースの設置。
- ・地域の人が集い、囲碁や将棋等が楽しめるスペースの設置。
- ・カフェスペース(便益施設)の設置。
- ・入浴施設の設置。

課題；①金剛地区まちづくり会議参加者以外からも、様々な立場の人の意見を聞く必要がある。
 ②公園整備や利活用促進について、関係者間でビジョンやポリシーを共有する必要がある。
 ③実現に向けた手法として、官民連携による施設整備等のあり方についても検討が必要。
 ④住民等が主体となって、公園・施設の利活用促進や運営等にかかわれる仕組みが必要。

サウンディング型市場調査の実施検討

「サウンディング型市場調査」とは

市の資産の有効活用や施策の検討に際し、民間事業者等との対話を通じ、幅広く提案や意見を求める市場調査(情報収集の手段)。

近年、全国の自治体で同調査が行われている

《他自治体の調査における公園活用にかかる提案・アイデアの事例》

- 整備手法；周辺景観と調和したカフェ・レストラン、バーベキュー・グランピングエリア、温泉やフィットネス等を併設した複合施設、太陽光発電等の設置、剪定枝等を活用したエネルギーシステムの導入
- プログラム；パークトレーナー(健康づくり相談員)による健康づくりプログラム、移動式動物園など動物とふれあうプログラム
- 管理手法；指定管理者制度(期間・要件)、広告・ネーミングライツ等に関する提案

本市(金剛地区)における検討状況

■調査の対象とする公園(施設)

金剛中央公園、青少年スポーツホール、寺池公園

■調査の概要

住民等の意見を踏まえた、公園(施設)の再整備、新たな施設の設置、質の高い管理、空間の特性を活かしたプログラムなどについて、整備・運営スキーム、市場性の有無、公園及び周辺地域への魅力向上の視点等を含めた実現性のあるアイデアを募集し、事業手法を検討する際の参考とする。